

日常診療でよくみる嘔吐、下痢には 3つの バスター[®]錠が効く

日本製



嘔吐には利便性の高い ボミットバスター[®]錠 5mg



SID
BID

1日1~2回の投与

投与回数が少なく、飼い主や動物への負担を軽減します。

1st.

嘔吐のファーストチョイス

嘔吐中枢に直接作用して嘔吐を抑えます。消化器系にも作用し食欲不振も改善します。検査等で原因が特定できない場合でも内科的対症療法で改善がみられることがあります。



美味しく、小さい、犬猫にやさしいタブレット
犬猫への投与が簡単な、魚風味のタブレットです。

下痢には ディアバスター[®]錠 で素早く止瀉 ビオムバスター[®]錠の併用で 完治率アップ



UP

異なる薬理作用で効果アップ

止瀉作用（ディアバスター[®]錠）と整腸作用（ビオムバスター[®]錠）により、完治率（96.55%）が向上し、完治までの日数（平均2.95日）が短縮しました。

[J. Jpn. Vet. Med. Assoc., 62(2009)]

1st.

下痢のファーストチョイス

ディアバスター[®]錠で、粘膜を保護し、炎症・消化器機能異常を改善します。
ビオムバスター[®]錠で腸内細菌叢を整え、消化・吸収を正常化します。



美味しく、割りやすい、飼い主にもうれしいタブレット
魚風味の柔らかい錠剤なので、簡単に分割できます。

動物用医薬品

ボミットバスター錠 5mg

犬猫用制吐・消化器機能異常治療剤

有効成分 1錠 (100mg) 中

塩酸メトクロプラミド 5.0mg (メトクロプラミドとして 3.84mg)

【その他の配合成分】 魚由来ペプチド (タンパク加水分解物) 及び酵母エキスを含みます。

用法・用量

通常、体重1kg当たり塩酸メトクロプラミドとして下記量を1回量として1日1~2回、経口投与する。

犬: 0.125~2.0mg 猫: 0.4~2.5mg

効能・効果

犬: 胃炎・腸炎等に伴う嘔吐・食欲不振、駆虫剤投与時の嘔吐。

猫: 胃炎・腸炎等に伴う嘔吐・食欲不振。

動物用医薬品

ディアバスター錠

犬猫用止瀉剤

有効成分 1錠 (270mg) 中

タンニン酸ベルベリン 25.0mg

次硝酸ビスマス 100.0mg

ゲンノショウコ乾燥エキス 0.4mg

五倍子末

5.0mg

ロートエキス散

20.0mg

【その他の配合成分】 魚由来ペプチド (タンパク加水分解物) 及び酵母エキスを含みます。

用法・用量

1日2回下記の量を経口投与する。

効能・効果

犬猫 下痢における症状改善。腹痛、疝痛。

動物用医薬品

ビオイムバスター錠

犬猫用整腸剤

有効成分 1錠 (200mg) 中

有孢子性乳酸菌

30.0mg

パンクレアチン

60.0mg

【その他の配合成分】 ビフィズス菌 (*Bifidobacterium bifidum*)、アシドフィルス菌 (*Lactobacillus acidophilus*)、フェカリス菌 (*Streptococcus faecalis*)、魚由来ペプチド (タンパク加水分解物) 及び酵母エキスを含みます。


















用法・用量

1日2回下記の量を経口投与する。

効能・効果

犬猫 食欲不振、消化不良。単純性下痢。

犬の投薬早見表

	投与回数	~<2.5kg	2.5kg~<5kg	5kg~<10kg	10kg~<20kg	20kg~<30kg	30kg~<40kg
ボミットバスター錠	SID or BID	適宜	 (1/2錠)	 (1/2錠)			
ディアバスター錠	BID						
ビオイムバスター錠	BID						

猫の投薬早見表

	投与回数	~<1.0kg	1kg~<3kg	3kg~<6kg	6kg~<9kg
ボミットバスター錠	SID or BID	適宜	 (1/2錠)	 (1/2錠)	
ディアバスター錠	BID	 (1/4錠)	 (1/2錠)		
ビオイムバスター錠	BID	 (1/4錠)	 (1/2錠)		

※SID:1日1回、BID:1日2回

製造販売業者

共立製薬株式会社
東京都千代田区九段南1-5-10

開発元



獣医医療開発株式会社
埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-133-1